

平成29年12月28日

本学構成員

特に学生の部活・サークル顧問教員 各位

総合安全管理部門長

安藤 慎治

【重要】 本学における火災防止に関する緊急通知

平成29年12月23日(土)に、大岡山地区南実験棟2サークル部室(作業場)において、電気を熱源とする装置(炉)から**火災が発生**しました。発見者等による消火器及び水まき消火の初期消火により鎮火し、幸い負傷者及び建物延焼はありませんでした。

しかしながら、土曜日の夜に発生した火災であり、発見が遅れた場合は、本学の建物への延焼にとどまらず近隣住宅に延焼しかねない、人命にもかかわる可能性が十分に考えられる火災でした。

また、今回の火災において、所轄消防署の調査により、火災元の装置(炉)の他にも、内部が炭化した箇所のある同様の装置(炉)が3機発見され、これらが鎮火済みの火災として扱われることになり、合計で4件の火災となりました。

このことから、今年度、7月及び8月に発生した3件の火災を含め、本学は**約半年間に7件の火災を発生させたこと**になります。所轄消防署からは、**嚴重注意を再度受ける**とともに、今後の改善策の提出を求められており、**本学としてきわめて重大な事態**と受け止めております。

つきましては、本学構成員の皆様には、火災を起こさぬよう、また万一の発災時には迅速・的確な対応ができるよう、**下記の事項を徹底してください**。

記

- (1) 今一度、火災予防対策等を再点検すること。
- (2) 万一の発災時には直ちに119番通報を徹底するとともに、別添資料(平成29年11月7日版)の内容を再確認し、現場住所を正しく記載すること。また、当該資料の居室等への貼付を確認すること。
- (3) 教員におかれては、平成29年9月13日付けで発信した「火災防止に関する緊急通知とお願い」による点検及び確認を、改めて実施すること。また、ご自身の研究活動の他に、学生実験や研究活動などの指導方法について、今一度、自主点検等を行うこと。

【本件担当】

施設運営部安全企画室安全企画グループ

大澤・江森

内線 3407, 7187

e-mail:sog.anz.kik@jim.titech.ac.jp

平成29年9月13日

スペース使用責任者（火元責任者）
各研究室責任者 各位

総合安全管理部門長
安藤 慎治

火災防止に関する緊急通知とお願い

この約1か月間に大岡山地区で3件の小火災が連続して発生しました。怪我や損害等は幸い軽微でしたが、所轄の消防署から嚴重注意を受け、総合安全管理部門としてたいへん重く受け止めています。つきまして今後、類似の火災を起こさぬよう、また万一の発災時には迅速・的確な対応ができるよう、下記の項目について改めて点検、確認いただきたくお願いいたします。

記

再点検・再確認を要する事項

- (1) 実験等の装置・器具・手順などに火災発生のリスク（これまで見逃していたもの）はないか。
 - ・ 危険物・禁水性物質等を入れた容器の取扱いや保管方法などの実験手順.
 - ・ 蓄電池類の保管状況（電極の確実な保護等）、等.
- (2) 次の初期消火用の器具類が実験室等の適切な場所に十分な数、配備されているか。また、使用薬品に対する消火方法を認識しているか。
 - ・ 消火砂，防火布，消火器（実験等の種別に適したもの）.
- (3) 万一の発災時の緊急通報の方法（119 通報，参考2）を研究室の全員が理解しており，必要な場合にすぐに通報ができるか。
 - ・ 各部屋に緊急連絡方法を掲示（参考2）し，記載の内容を研究室内で共有する。

【本件担当】

施設運営部安全企画室安全企画グループ
大澤 江森
内線 3407,7187
e-mail:sog.anz.kik@jim.titech.ac.jp

【参考】

1. 事故の概要（H29 年 7～8 月，大岡山地区）

月日	場所	概 要
7/20	東 1 号館 4 階 (実験室)	化学実験中，禁水性物質の入ったフラスコがクランプの緩みのため冷却水槽に落下し，フラスコが破損して発火，溶媒に引火した。すぐに消火器で消火した。ごく軽い怪我人 1 名。
8/22	南実験棟 2 1 階 (サークル部室)	サークル室で鉛蓄電池を多数保管中，一部の電極のカバーが剥がれ，その上に渡していたカーボン板により正負極が導通・短絡して発火した。すぐに消火器で消火した。
8/28	南 7 号館 B1 階 (機械室)	建物（地階）のユーティリティ用の電源制御盤内で，コンデンサが発煙，発火した。間もなく消火器で消火した。

2. 発災時の緊急行動ポスター（大岡山キャンパス用の一例）

大岡山キャンパス
東・西・南・石川台地区用

火災が発生！

施錠されている部屋が「火災かもしれない」と思ったら、
最初に守衛所に連絡すること！

直ちにやらねばならない5つの基本行動

発見者の通報

① 大声で「**火事だ！**」と叫ぶ

② 火災通報装置の**ボタン**を押す
※在棟者に知らせるため

③ **119番通報**

1) 現場住所:
大田区石川町 1-31
〇〇号棟〇階〇号室
2) どうした

④ **守衛所への連絡**
※守衛が、(1)建物キーを持参し解錠、(2)緊急車両の入構対応、をするため
内線: 3119
携帯からは: 03-5734-3119

⑤ 身の安全確保のうえ、臨機応変に
初期消火

Ookayama Campus
Area: Higashi, Nishi, Minami, Ishikawadai

2017. 11. 07版

When a fire has occurred . .

Call Campus Guard Station first, if there is a
suspected fire inside a LOCKED room.

5 immediate actions in the case of fire

Finder

① **Shout "FIRE" in a loud voice**
"FIRE" = "KAJI" in Japanese

② **Push the button of Fire Call Unit**

③ **Local Fire Department Dial 119**

1) Site address:
〇〇 Build, 〇 Floor, 〇〇 Room
1-31 Ishikawa-cho, Ota-ku
2) What has occurred?

④ **Campus Guard Station**
Ext. 3119
Cell phone: 03-5734-3119

⑤ **Attempt initial fire fighting as appropriate, after securing your safety.**

- 上図は，総合安全管理部門の HP（「事件，事故等」）および「健康・安全手帳」に掲載していますので，印刷して各部屋に掲示してください。
- 119 番通報時に消防に伝える「発災現場住所」は，大岡山キャンパスでは東急電鉄線を境に，南側は「大田区石川町 1-31」，北側は「目黒区大岡山 2-12-1」です。
- 「現場住所」欄内に，「〇〇号棟〇階〇号室」を必ず記載してください。